TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエス・キリストの即位　何もお答えにならなかった

マタイによる福音書 27:11-14

2024年7月6日＆7日
余沢 武　牧師

I.　はじめに

こんにちは。今日はマタイによる福音書に戻ります。私たちは、イエスが大祭司に、自分はメシアで神の御子であり、いつの日か御父とともに万物を治められると語ったのを見てきました。そして、大祭司たちがどのようにイエスを「神への冒涜」で告発し、「死刑」を宣告したかをも見てきました。

そして、何が起きたのかを見て、ユダは自責の念に駆られ、自ら命を絶ちました。今日は、その後イエスが「ローマの総督」にどのように裁かれたかを見ていきます。その前に、祈りましょう。

II.　何もお答えにならなかった

(1)　私たちの擁護者

マタイ 27:11-12 を見ましょう。「11 さて、イエスは総督の前に立たれた。総督がイエスに、「お前はユダヤ人の王なのか」と尋問すると、イエスは、「それは、あなたが言っていることだ」と言われた。 12 しかし、祭司長たちや長老たちから訴えがなされたときは、何もお答えにならなかった。」

死刑を執行する権限を持つのはローマ総督だけであったため、祭司長たちや長老たちはイエスをローマ総督「ポンテオ・ピラト」のもとに連れて行きました。

ここでピラトの経歴を簡単に説明します。彼はティベリウス・カエサルによって、僻地で反抗的として知られた場所、ユダヤの総督、すなわち県知事に任命されました。しかし、僻地で反抗的というだけでなく、自身の誤った判断により、ユダヤ人を治めることをさらに難しくしてしまいました。

① 歴代の総督はそれを避けましたが、彼は 1 度目にユダヤに到着したとき、兵士たちにカイザルの像が描かれた旗を持たせましたが、ユダヤ人は「偶像礼拝」だと考えました。そこで、ユダヤ人たちは代表団を送り、これを撤去するよう求めました。

ピラトはこれを拒否し、首を切り落とすと脅しました。しかし、彼らが首をはねられる覚悟を示すと、彼は、暴動につながるとわかったので、譲歩して撤去しました。

② 水道橋を建設する際、神殿の宝物庫の金を使いました。そのため暴動が起こり、ユダヤ人たちは彼の悪行をカイザルに報告すると脅しました。

③ その後、カイザルの像が描かれた盾を衛兵に持たせ、再びユダヤ人を怒らせました。 ユダヤ人の指導者たちはカイザルに訴えました。そして、ピラトはカイザルに命じられてそれらを撤去しました。

④ ユダヤ人との一件で、政治家としてのキャリアを失うかもしれないことを彼は分かっていました。

そして今、ユダヤ人の指導者たちはイエスに死刑を宣告するよう要求しています。神への冒涜はローマ人にとっては何の意味もないだろうから、彼らはカイザルの敵としてイエスを告訴しました。ルカ 23:2 によると「そして、イエスをこう訴え始めた。「この男はわが民を惑わし、皇帝に税を納めるのを禁じ、また、自分が王たるメシアだと言っております。」」

とても興味深いのは、告発に関係なく「何もお答えにならなかった」ことです。イエスはご自分の擁護すらされませんでした。神を信頼し神に従っているとき、神は私たちの擁護者であり、弁護者であることを知っていたからです。

旧約聖書のダニエル書 3 章に、シャドラク、メシャク、アベド・ネゴという 3 人の信仰心のある若者の話があります。ある時、バビロンの王ネブカドネツァルが金の像を建て、皆にひれ伏して拝むように命じました。

シャドラク、メシャク、アベド・ネゴは、神の「あなたは自分のために彫像を造ってはならない。それにひれ伏し、それに仕えてはならない。(出エジプト 20:4-5a)」という命令を知っていたので、拒否しました。すると、王は、彼らを火の燃える炉の中に投げ込むぞと脅しました。

聖書によると、彼らはこう答えました。「もしそうなれば、私たちが仕える神は、私たちを救い出すことができます。たとえそうでなくとも、私たちは、あなたが立てた金の像を拝むこともいたしません。(ダニ 3:17-18)」彼らは神を信頼し、神の命令に従い、神は彼らを守り救い出しました。

ヘブライ人への手紙 11:6 にこうあります。「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、神がご自分を求める者に報いてくださる方であることを、信じていなければならないからです。」

これが、私たちが神に従い、神を喜ばせるために必要な信仰です。私たちが信じる必要があることは、#1 神が存在すること、#2 神はご自分を求める者に報いられる、ということです。

① シャドラク、メシャク、アベド・ネゴは、神が存在し、神はご自分を求める者に報いてくださると信じていました。私たちが神に従うとき、神は私たちの擁護者となってくださいます。

② イエスもまた、神が存在し、神はご自身を求める者に報いられることを信じていました。いいかえると、イエスが神に従う時、神はイエスの擁護者となります。だから、黙っておられたのです。

③ 私たちが神に従う時は、神が存在すること、神はご自分を求める者に報いてくださることを信じる必要があります。私たちが神に従う時、神は私たちの擁護者、弁護者となってくださいます。

(2) 私たちの王

11 節でピラトがイエスに「ユダヤ人の王なのか」と尋問したとき、イエスは「それはあなたが言っていることだ」と答えました。

ニュアンスとして「それはあなたの表現であって、私ではない」と言っているようです。つまり、「それは事実だが、実際はそれ以上のことだ」という意味です。ヨハネによれば、イエスはピラトにさらに詳しく説明をしました。

イエスはヨハネ 18:36 でこう言いました。「私の国は、この世のものではない。もし、この世のものであれば、私をユダヤ人に引き渡さないように、部下が戦ったことだろう。しかし実際、私の国はこの世のものではない。」

イエスは「私の国は、この世のものではない」と言いました。これは、この世にその起源はないという意味です。すなわち、この世とはまったく別の目的があるのです。私たちは、出自、意図や目的が何かによって、結果となる行動が違ってきます。

1981 年から 1983 年にかけて、アメリカ政府はハイチの豚 130 万頭を買い占めました。大量の豚肉が米国に出荷されたと思うでしょうが、そうではありません。産地がどうとかではありません。意図や目的も違います。ただ、殺処分されただけでした。

アフリカ豚コレラという伝染病がハイチの豚に蔓延していました。アメリカ政府は豚をすべて殺して伝染病を食い止め、新しい豚の集団と入れ替え、伝染病がアメリカに広がらないようにしようと考えました。

出生がどこか、意図や目的が何かによって、結果となる行動が違ってきます。だからイエスはこう言ったのです。「私の王国はこの世のものではない」

イエスの王国はこの世に起源を持たないので、イエスの意図と目的は、この世の土地や人々を支配し敵対する王や兵士たちを征服することで、ご自身がこの世の土地や人々を支配することではありません。

イエスの王国は神にその起源があります。イエスの意図と目的は、嘘と罪によって人々の心を支配する神の敵サタンを征服することで、ご自身が真理をもって人々の心を支配する王となることです。

そのため、結果となる行動はまったく異なってきます。イエスと弟子たちは、敵兵と「戦いません」。代わりに、人々の心を支配する嘘と罪と戦ってきました。

① どうやって？ 真理をもって嘘と罪を暴くことによってです。真理はイエスと使徒たちの教えと生き方を通して知ることができます。1 ヨハネ 2:15-16 によると、私たちは幸福を得ることを次のように考えます。

- 肉の欲。自分たちの欲を満たすことによって。
- 目の欲。より多くのお金を持つことによって。
- 見栄を張った生活。世の中で成功したとみなされること。

先日、売れっ子セレブを子供たちのロールモデルにしながら、そのセレブが親密な関係の相手を次々変えていき、結婚する気がなさそうであることに疑問を投げかける記事のレビューを読みました。

読者のコメントを読むと、そのほとんどが批判的で基本はこのような反応でした。「成功しているならいいじゃないか。余計なお世話だ」 そう、この世の感情は欲望や金銭、成功に支配されているのです。イエスはそれを暴くために来られました。

② このような嘘に由来するすべての罪を、十字架にかかったイエスが罰することによって。

③　　このような人々の心を支配し、御霊によって真理に従うのを助けることによって。

そうです。イエスは王ですがこの世ではありません。敵を征服し、神の王国を打ち建てるのは、

①敵兵士を打ち倒すのではなく

②ご自身を私たちの罪のための犠牲として引き渡すことで

③私たちが真理に従って生きられるようご自身の御霊を捧げることによってです。

（3）　私たちの裁判

「13 すると、ピラトは、「聞こえないのか。あんなにお前に不利な証言をしているのに」と言った。14 しかし、総督が非常に不思議に思うほどに、イエスはどんな訴えにも一言もお答えにならなかった。」”

ピラトは、なぜイエスが自分を弁護しないのか、ただ理解できませんでした。先に見てきたように、イエスは次のことを知っていました。#1 神はイエスの擁護者であること、#2 イエスは十字架刑を通して敵を征服する必要があったこと。しかし、イエスがご自分を弁護されなかった 3 つ目の理由があります。

イエスはこれが自分の裁判ではないことを知っていました。私たちの裁判でした。イエスは無実でしたが、私たちは無実ではありません。私たちは有罪です。私たちは死に値する罪人なのです。言い訳も弁護もできません。

イエスはご存じでした。これが私の裁判であると。タケシの裁判です。あなたの裁判です。だから、イエスは黙って、私やみなさんのために罰を受けるために命を捧げ、私たちのすべての罪が彼の上で罰せられることで赦されるように、覚悟を決めておられたのです。しかし、ピラトにはそれが理解できませんでした。

しかし、イエスが私たちのところに来て、私たちに真理を啓示し、私たちの罪のために十字架の上で死なれ、3 日目によみがえられたので、
①　　私たちは、私たちが信じてきた嘘のせいで自分がいかに罪深かったかを知ることができます。

②　　私たちの罪に対するイエスの罰を受け入れることによって、私たちは赦しを受けることができます。

③　　イエスと聖書の御言葉にある神の真理に基づき、聖霊の助けによって、私たちは新しい人生を歩み始めることができます。

イエスを主であり救い主として受け入れたことがないのなら、今日そうすることをお勧めします。主を信頼し、主とともに歩み始めてください。そうすれば、神はあなたの擁護者となり、あなたの罪は赦され、あなたが新しい人生を生きるのを神の聖霊が助けてくださいます。今日、そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2824jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月8日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも
☆クラス 201
霊的成長について
9月22日（日）1:00pm - 5:00pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org